

マーコーラ博士、ユーチューブ禁止措置に立ち向かう：

「独立した言論の自由の場を設け、検閲過激派たちを敗退させる」

Infowars.com

September 30, 2021

<https://www.infowars.com/posts/dr-mercola-defiant-after-youtube-ban-independent-free-speech-platforms-will-defeat-censorship-extremists/>

⇒「世界は、メディアにおけるあきれ果てた**墮落**に、ますます目覚めつつある。そして我々の自由と市民権に対する攻撃を操っている、暴政政府や製薬産業に対して、立ち上がりつつある。」

⇒「我々全世界が団結している、我々は恐怖の中に生きるつもりはない、我々は結束して立ち上がり、我々の自由を奪回する。」

有名なホーリズム開業医 Joseph Mercola 博士は、彼のチャンネルがユーチューブで禁止されたことに、大きく反応した。これは、そのビデオ・プラットフォームが、水曜日、著名な反ワクチン活動家たちのチャンネルを、除去すると通告したからである。

水曜日の禁止を受けて立つ声明で、マーコーラは今、グローバルな医療暴政に対し、ますます多くの人々が目覚めて立ち上がりつつあると指摘し、真に言論の自由を尊重する他の独立メディア・プラットフォームも、共に立ち上がって「過激な検閲者を敗退させるつもりだ」と宣言した。

「世界は、メディアにおける呆れ果てた**墮落腐敗**に、ますます気づきつつあり、我々の自由と市民権に対する、この攻撃を操っている暴政的な政府と医薬品産業に対して、立ち上がろうとしている」と、この戦闘的なドクターは書いている。

「独立メディア・プラットフォームで、言論の自由とアメリカ人の人権を擁護し、地球的な暴政に公然と反撃する者たちが、過激な検閲者たちを撃退するだろう。」

マーコーラ博士はまた、米政府は、中国の武漢の「機能獲得 (gain of function) 研究」の資金援助の背後にいると知られても、責任を曖昧にしていると強調した。

マーコーラは、水曜日に禁止された何人かの「ワクチン反対者」の一人であり、Robert F. Kennedy Jr.や Dr. Sherri Tenpenny もそこに含まれる。

<https://www.infowars.com/posts/youtube-bans-all-anti-vaxx-activists-anti-vaxx-content/>

彼の声明は、さらにこのように言っている：――

・・・質問をしたり、強引なやり方を問い正したりする者は、誰でも、直ちに社会メディアで検閲される。州の政府や被雇用者、医療従業者や、緊急事態に反応する人たちが、ワクチンを拒否すると、失業に直面しなければならない。

アメリカ合衆国連邦政府は、このグローバルなパンデミックにつながった、危険な「機能獲得」ウィルス研究に、直接カネを出していた。そしてメディアが、この研究所のリンクのあらゆる証拠を、隠ぺいする用意をしていた。

・・・異論をもつあらゆるアメリカ人が、ワクチンを受けている、いないにかかわらず、あらゆる社会経済階級、あらゆる政治政党、あらゆる信仰の共同体に属している。彼らはこの警告の意味を理解している――「**悪が勝利するために必要な、ただ一つのこと、善なる人々が何もしないこと**」そして、何も結束して守ろうともせず、何もしないであることである。

我々は全世界を一貫して団結している。我々は恐怖の中に生きるつもりはない。我々は結束して立ち、我々の自由を取り戻す。

関連記事：「**爆弾記事：マーコーラ博士が Covid-19 注射についてショッキングな予言をする**」 <https://banned.video/watch?id=6092f042530512120402bd10>

[訳者 Greatchain による解説]

マーコーラ博士は有名人であり、彼が発言禁止の標的になったのは不思議ではない。注目すべきは、彼が Holism（「ホリスティック医学」と言われる）の開業医であることである。ホーリズムについては、このブログで何度か論じているので、ここをご参考願いたい。が、<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/170527.pdf> 不思議なことは、これ以上平和な、また平和を願う考え方はないと思われる、この医学・哲学思想が、最も多く暗殺の対象になっていることである。この一事だけでも、今起きている理不尽きままる、医療暴政の理由がわかるであろう。

彼の声明文をよく読んでいただきたい——「悪が勝利するために必要な、ただ一つのこととは、善なる人々が何もしないこと、そして、何も結束して守ろうともせず、何もしないでいることである」——彼の思想が、「悪」という宇宙的病気に対して、調和や「善」という神の健康が、全体という「結束」、「世界の団結」であることがわかる。この結束は、バイデンの言ったニセの「結束」とは反対のものである。彼の結束は部分の集合、すなわち totalitarianism (全体主義支配) の total である。これに対してマーコーラの結束は、holistic な一致団結である。

もう一つマーコーラは、メディアの「墮落」という言葉を使っている。メディアは単に「間違っている」というだけではない。トランプとバイデンは、政策が間違っただけで齟齬を生じているのではない。それは善と悪との違いである。これは宗教的に考えねばならない。メディアのような唯物論や無神論から、それは出てこない。バイデンを立てようとする暗黒のグローバリストも、実は無神論者ではない。彼らは神を亡き者にしようとする信仰者、サタン信者である。

墮落とか腐敗というのは、神を目指す、上昇の方向性を持つべき者が、下降する・落ちるとのことである。したがって、善と悪しか働いていない、現在のこの世界に、それ以外の考え方が、あるかのように教えるメディアや政府は、その時点で墮落しており、人間を滅ぼそうとするものである。これは、まやかしのワクチンが、そうでないかのように教えることに通じている。(たった今の NHK ニュースで、トランプが1・6議事堂暴動を指揮したかのように言ったのは、墮落した者の、人を墮落させる報道である。)

我々の多くは、半世紀ほど昔、「世界同時革命」という、共産主義者のスローガンを耳にしたであろう。これはほとんどの人々に、嫌な言葉であった。しかし今、まさにこの「世界同時革命」が何よりも要求されている。ただそれは無神論や唯物論によるものでなく、正反対のホーリズムによるもの、有神論の立場の世界同時革命である。**逆に言えば、今これが起こらなければ、我々に勝ち目はないと言ってもよい。**マーコーラ博士はそれを言っている。

墮落・腐敗という概念は、ホーリズムの立場に立つ限り、心身の宇宙的な不健全化であるから、性の墮落や、曲がった性関係も、ワクチン注射という悪魔的人間操作も、同じものである。最後に下の記事を添付しておくので、まさに holism の立場から、これを考えていただきたい：——

悪魔的：民主党が胎児殺しを「祝福」「愛の行為」と呼ぶ

彼らはテキサス州の反墮胎法に抗議している (Sep. 30)

<https://www.infowars.com/posts/demonic-dems-call-abortion-a-blessing-act-of-love-as-they-protest-texas-abortion-law/>

⇒左翼の狂信者たちが、ぞろぞろ出てきて、子宮の中の子どもを殺す権利を弁護する。

⇒一方、民主党は、Burgess Owens 議員が、闇の墮胎率の背後に何があるのかを、説明しようとするのを、黙らせようとする。

頭のおかしい民主党が、木曜日、下院公聴会において、馬鹿げた二枚舌を用いて、子宮の中の子どもを殺す権利を弁護した。

「監視と改革に関する下院委員会」公聴会、別に「危機的状態：墮胎の権利とアクセスを保護し拡大する、緊急の必要の調査」と呼ばれるものにおいて、民主党員は、テキサスの S.B. 8 法が、(妊娠) 6 週間後の墮胎を禁ずるのは、女性の権利に対する侮辱であると論じた。・・・

(訳者注) 幼児や子供を含めた、健全に機能している人々に対するワクチン注射の強制と、同じように不自然に行われる、ペドフィリアを含めた、不健全な性関係は、「神に対する強姦」という点で、同じものである。